

## 3 副都市核としてふさわしい駅前へ 駅前ロータリーを改築

久居駅東口ロータリーを改築して、副都市核の交通結節点としてふさわしい空間整備を行い、利便性・安全性の向上を図ります。

- 整備時期** 平成30・31年度  
**総事業費** 4億9,500万円  
**整備内容** 歩道部の屋根、ベンチ(12基)、バス・タクシー乗降場、一般車・身体障がい者用乗降場、時計塔

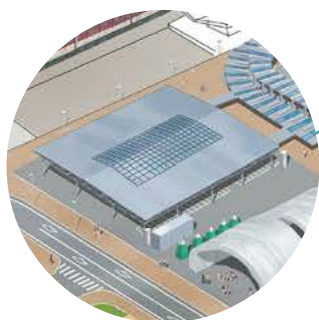


津市では久居地域において、市の副都市核としてふさわしい、にぎわいある安心・安全に暮らせるまちづくりを進めています。平成27年度から国の社会資本整備総合交付金を活用して久居駅周辺地区都市再生整備計画事業を開始し、今年11月には防衛省東海防衛支局と用地交換が完了しました。久居駅東口のさらなる活性化に向けて、総事業費15億6,900万円を投じ、整備を行っていきます。

## 4 駅へのアクセス良好! 駐輪場を新設

久居駅東口に有料の駐輪場を新たに整備し、利便性の向上を図ります。なお、駅北東部にある現在の久居駅前公共自転車駐車場(駐車台数428台)については、新しい駐輪場を建設後、解体して無料の平面駐輪場として再整備します。

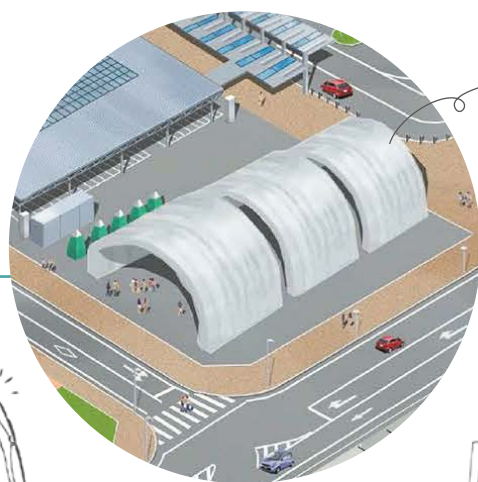
- 整備時期** 平成31年度  
**総事業費** 2億1,800万円  
**収容台数** 自転車480台、原付30台(予定)



## 5 災害に備えた最先端の広場 防災広場が誕生

災害時に、久居駅周辺での支援活動が円滑に行えるよう、一時避難場所などの整備を行います。平常時には広場として利用できるよう、景観にも配慮します。

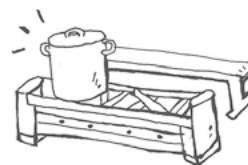
- 整備時期** 平成31年度  
**総事業費** 2億5,900万円  
**整備内容** マンホールトイレ5基  
 防災備蓄倉庫1棟  
 耐震性貯水槽1基  
 防災サイン1基  
 エアーテント3基(災害時のみ設置)  
 かまどベンチ5基(緑の風公園に整備)



**エアーテント**  
 災害時に  
 雨風をしのぐ  
 大型テントを設置



**マンホールトイレ**  
 下水管上にテントを立てて  
 仮設トイレが完成



**かまどベンチ**  
 平常時は憩いのベンチ。  
 災害時はかまどに変身



**防災サイン**  
 案内板をスライドすると  
 災害時の掲示板に早変わり